

平成28年度上半期 現況のご報告

遠州中央農業協同組合

住所：静岡県磐田市見付3599-1

電話：0538-36-7002

URL <http://jaenchu.ja-shizuoka.or.jp>

この冊子は、農協法第54条の3に定められた経営内容の開示のための冊子
(ディスクロージャー誌)です。

J A 遠州中央 平成 28 年度上半期 経営状況のご案内

1. J A の地域貢献

当 J A は、袋井市・磐田市・浜松市・森町を事業区域として、「農業を通じて新しい時代の住みよい社会と健やかでおいしいのある生活を地域の人たちとともに育み高めつづけます」の基本理念のもと、農業の振興と健康で豊かな地域社会の実現に向け、金融・共済・営農・経済等総合的に事業活動を行っています。また、次のような活動を通じて地域社会・文化への貢献に努めています。

- ① ファーマーズマーケット・農産物直売所・新鮮市等での安全・安心な農産物の提供
- ② 管内各地で児童を対象とした田植え・お茶摘み・稲刈り・芋ほり等の農業体験の実施
- ③ 管内での農協祭・農業祭の実施
- ④ 新規就農者育成等を目的とした「ときめき園芸教室」の実施
- ⑤ 無料職業紹介による農家と地域住民のマッチングを実施
- ⑥ J A 女性部たすけあいグループによる介護支援の実施
- ⑦ J A 年金友の会による各地区でのグラウンドゴルフ大会の実施
- ⑧ ときめき少年サッカースクールを開催
- ⑨ 地元の少年サッカーチーム参加による「J A ときめき杯少年サッカー大会」の実施
- ⑩ 地元の少年野球チーム参加による「J A ときめき旗争奪少年野球大会」の実施
- ⑪ 役職員会による清掃ボランティア活動の実施

2. 金融再生法開示債権（単体）

当 J A の金融再生法の開示区分に基づく債権額は次のとおりです。
今後も厳格な資産自己査定を実施し、資産の健全化に努めていきます。

（単位：百万円）

債 権 区 分	平成 28 年 3 月末	平成 28 年 9 月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	577	475	▲ 101
危険債権	124	53	▲ 71
要管理債権	-	-	-
合 計	702	528	▲ 173

※記載金額は百万円未満を切り捨ててありますので合計すると相違する場合があります。

注：1. 平成 28 年 9 月末の計数は、平成 28 年 8 月末を基準日として行なった資産自己査定結果（債務者区分及び債権額）を基準としています。

2. 各債権の定義は次のとおりです。

- ① 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。信用事業に係る総与信（貸出金、信用未収利息、信用仮払金、債務保証見返、貸付有価証券、外国為替（以下、同様））のうち、資産自己査定で破綻先及び実質破綻先に区分されたものが該当します。
- ② 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性が高い債権です。信用事業に係る総与信のうち、資産自己査定で破綻懸念先に区分されたものが該当します。
- ③ 「要管理債権」とは、3 月以上延滞債権（元金又は利息の支払いが、約定支払日の翌日を起算日として 3 月以上延滞している貸出債権）及び貸出条件緩和債権（経済的困難に陥った債務者の再建又は支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行なった貸出債権）です。

3. 単体自己資本比率

当 J A の自己資本比率は平成 28 年 9 月末 21.48% 程度と国内基準 4% を大幅に上回る水準を維持しています。

平成 28 年 3 月末	平成 28 年 9 月末（見込み）
21.26%	21.48% 程度

注：1. 自己資本比率とは、貸出金等の総資産に占める自己資本の割合を示すもので、経営の安全性、健全性等を表す代表的な指標です。国内のみで営業を行なう金融機関には 4% 以上が求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額（出資金や利益準備金、積立金、剰余金などの合計額）} \times 100}{\text{リスク・アセット（当 J A の所有する預金や貸出金、有価証券その他の資産にそれぞれ定められた一定のリスク・ウェイトを掛けて計算した総額）} + \text{オペレーショナル・リスク相当額}}$$

2. 平成 28 年 9 月末の自己資本比率の算出にあたり、仮決算の当期剰余金は法人税等見込み額控除前の数値を使用しています。信用リスク・アセットの一部は、平成 28 年 8 月末を基準として行なった資産自己査定結果に基づいて計算しています。また、オペレーショナル・リスク相当額は、直近決算における数値を使用しています。

4. 主要勘定の状況

(単位：百万円)

項目	平成27年9月末	平成28年3月末	平成28年9月末
貯金	562,404	565,246	559,363
貸出金	108,104	105,035	103,166
預金	439,087	449,386	447,406
有価証券	28,561	28,407	22,918

- 注：1. 平成27年9月末および平成28年9月末の残高は帳簿価格を、平成28年3月末の残高は貸借対照表計上額を表示しています。
2. 貸出金残高には、県信連に対する劣後ローン6,300百万円を含んでいます。

5. 有価証券等の時価情報

(単位：百万円)

項目	平成28年3月末			平成28年9月末		
	貸借対照表価額	時価	含み損益	帳簿価額	時価	含み損益
満期保有目的の債券	5,513	5,751	237	4,513	4,722	208

※記載金額は百万円未満を切り捨ててありますので合計すると相違する場合があります。

(単位：百万円)

項目	平成28年3月末			平成28年9月末		
	取得原価	貸借対照表価額	評価差額	取得原価	時価	評価差額
その他有価証券	21,360	22,893	1,533	18,405	19,710	1,305
株式	-	-	-	-	-	-
債券	21,360	22,893	1,533	18,405	19,710	1,305
その他	-	-	-	-	-	-

- 注：1. 満期保有目的の債券、その他有価証券で時価のあるものを表示しています。
2. 平成28年9月末の含み損益・評価差額は、平成28年9月末時点の帳簿価額・取得原価と時価との差額を表示しています。
3. 子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。